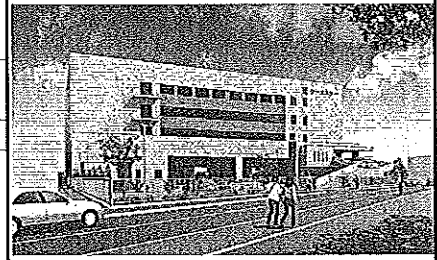


CASBEE™ 新築

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (2007年暫定版) ■使用評価ソフト: CASBEE-NC_2007(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ケーエスケー京都物流センター	階数	地上5F
建設地	京都府宇治市横島町三十五 30-24	構造	SRC造
用途地域	工業地域 防火指定無し	平均居住人員	60人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	2,500時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2009年4月 予定	評価の実施日	#####
敷地面積	4,663㎡	作成者	#####
建築面積	2,773㎡	確認日	#####
延床面積	10,057㎡	確認者	#####



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

★★★★★ S:★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B:★★ C:

BEE=1.0

2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q: 環境品質 Qのスコア= 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR: 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3. 設計上の配慮事項		
総合	環境負荷低減による、エコ物流センターの実現	その他 避難安全検証法を用いることにより排煙窓を無くし、空調負荷軽減、騒音対策を図っている。
Q(室内環境)	出入荷バースの開口に全て高速シートシャッターを設け、空調環境を向上	Q3(室外環境(敷地内)) 道路境界を中心に彩り豊かな樹木を植栽することによる、良好な景観形成
LR(環境負荷低減)	コア配置・窓配置の適正化によるPAL値の最小化	LR3(敷地外環境) 敷地内に、施設利用者のための十分な駐車・駐輪施設を設け、交通負荷を抑制

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質・性能)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい